



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2018-19



CONTENTS

ガバナーズレター	1
西播第1グループIM	5
西播第2グループIM	5
東播第2グループIM	6
但馬グループIM	6
2020学年度米山記念奨学金学校説明会	7
2018学年度米山記念奨学生修了式・歓送会	7
加古川中央ローターアクトクラブ認証状伝達式	8
2019年地区チーム研修セミナー	8
地区補助金奉仕プロジェクト(神戸東、加古川平成)	9
文庫通信	10
地区予定	10
新会員紹介	11
ご寄付感謝	11
ガバナー事務所からのお知らせ	13
訃報	13
出席報告	14

GOVERNOR Muneyoshi Yano



国際ロータリー第2680地区 ロータリークラブ会長、幹事の皆様



国際ロータリー第2680地区
ガバナー 矢野 宗司 (加古川中央)

3月号では日本のロータリー思想の原点を中心に述べました。今月は、RIに復帰してからの戦後の日本のロータリーについて、RIの方向性を踏まえながら、その課題となる論点に触れていきます。

1. 日本のロータリー100年

2020年に100周年を迎える日本のロータリーを4つに時代区分すると下記になります。

・創成期 (1920年～1944年)

日本のロータリークラブの創設、拡大、大連宣言や日満ロータリー連合会に見るロータリーの日本化、官憲による弾圧、RIからの脱退、水面下の活動

・拡大期 (1945年～1969年)

戦争終結によるRIへの復帰運動、RIへの復帰、一都市一RCの完全廃止によるクラブと地区の増加。次第にロータリー財団の活動が活発になる。

・成熟期 (1970年～1994年)

RI主導が強化される中、ロータリー運動のグローバル化が進行。次第に奉仕の実践に重点が置かれ、団体奉仕の考えも浸透していく。日本のロータリーはさらなる増強、拡大が続く。

・停滞期 (1995年～2019年)

世界的にはロータリー先進国での会員減と発展途上国での会員増の中、会員数の停滞を迎える。それを踏まえてRIは様々な改革に着手する。一方、日本では会員数はピーク時の約70%となるが、改革へのスピードは鈍い。

2. 拡大期におけるロータリーの動き

日本のロータリーの創成期については、前号で詳しく見ていきましたので、拡大期におけるロータリーの動きから触れていきます。

第二次世界大戦を経て、49人のロータリアンが国連憲章起草に参画する中、国際ロータリーは国際奉仕活動に力点を置くようになります。その原動力となったのがロータリー財団です。1947年のポール・ハリスの逝去まではロータリー財団は特筆すべき活動を行っていませんでしたが、ポール・ハリスの遺言で多額の寄付金が集まる中、1947年からロータリー財団奨学制度がスタート、1949年にRIに復帰した日本も国際親善奨学生を送り出します。

そして、1962年の世界社会奉仕プログラム(WCS)の導入により、国際奉仕活動が本格化され、さらに1965年のマッチンググラント、1966年の研究グループ交換(GSE)の開始へとつながっていきます。それまで例会を中心とし、地域社会への奉仕活動でしかなかった日本のロータリーも、次第に国際奉仕活動に取り組むようになります。

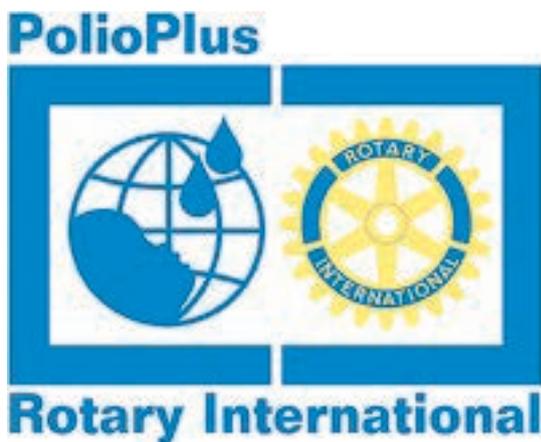
一方、国際ロータリーは青少年奉仕活動にもその活動を広げていきます。1956年にRYLAがオーストラリアでスタート、1962年にインターアクトクラブが設立、さらに1968年にはローターアクトクラブが設立されます。その間、職業奉仕については、1948年に国際ロータリーは職業奉仕委員会を廃止、また、1951年、「ロータリー倫理訓」が手続要覧から削除と、次第に影を薄めていきます。

その間、日本においてはロータリーの拡大が続き

ます。第60地区として、13RCでRIに復帰した日本のロータリーは拡大を続け、1968年には14地区に分割されます。

3. 成熟期におけるロータリーの動き

1970年、規定審議会がRIの立法機関として決定されてから、RI理事会の主導による運営がより強まるようになります。その中で、1978年、保健・飢餓追放・人間性尊重（3H）プログラムが発表され、1980年のロータリー創立75周年に合わせて3Hプログラムがさらに推進されます。そして、1985年、ロータリー創立80周年に「ポリオ・プラス計画」が発表され、今日まで続くポリオ撲滅運動が本格的にスタートします。



1988年125ヵ国で推定35万件以上の症例があったポリオは、2018年、パキスタン・アフガニスタンの2ヵ国33の症例にまで減少

そして、1991年、「国際ロータリーの使命」が発表されます。

「国際ロータリーの使命は、ロータリアンとロータリークラブがロータリーの綱領（目的）を遂行するための力となり、併せて、ロータリーが発展を遂げたこの目覚ましい時代においては、個人と団体による奉仕活動に第一の眼目を置きつつ、人間の品位と生活の質を高め、世界平和推進のためあまねく人々の大いなる英知を喚起することにある。」

ここに、国際ロータリーは団体奉仕活動を正式に提唱します。これに先立ち、個人奉仕を基本理念として

謳った決議23-34は1984年に手続要覧から削除されます。もっとも日本などの強い反対の中、1986年に復活されることとなりますが、それまで、個人奉仕をロータリーの基本理念と捉えていた日本のロータリアンには、この転換への違和感が生まれることにもなります。

さらに1992年、「国際ロータリーの使命」に呼応する形で、「社会奉仕に関する声明」として決議92-286が採択されます。決議23-34はよく取り上げられますが、決議92-286は社会奉仕に関するセミナーの中でもあまり取り上げられません。しかし、現在の社会奉仕に関する基本的な考え方として、この声明は極めて重要であります。

「社会奉仕に関する声明」においては、「社会奉仕は、ロータリアン一人ひとりが『超我の奉仕』を実証する機会である。地域に住む人々の生活の質を高め、公共のために奉仕することは、各ロータリアンとロータリークラブにとって献身に値することであり、社会的責務でもある。」と述べ、個々のロータリアンによる個人奉仕と共に、ロータリークラブによる団体奉仕を並列に掲げ、これに基づいて各クラブに10項目の勧奨をし、社会奉仕基準の改正を行いました。

決議23-34から、70年を経る中で、RIそのものが大きな変化を遂げて来ました。その間、加盟国は26ヵ国から134ヵ国に増大し、先進国のみの構成から発展途上国が多数加盟することになり、クラブ数も約1,400から約25,000、会員数も約10万人から100万人を超え、決議23-34が採択された当時とは、奉仕の対象も含め、様々な変化の中で、ロータリーの唯一の奉仕理念として存続することは、時代にそぐわなくなってきたとも言えます。

1986年にはロータリーは節目となる100万人を突破、日本でも10万人を突破します。一方、1989年には規定審議会で女性会員の入会が認められます。また、青少年奉仕においては、1974年に青少年交換プログラムが始まり、これで4つのプログラムが出そろうことになります。

この間、日本のロータリーは経済発展と共に、拡大

を続けます。しかしながら、組織が右肩上がりでの拡大を続ける時は、改革への意欲はどうしても希薄になってしまいます。

4. 停滞期におけるロータリーの動き

1997年、120万人を超えたロータリーですが、その後は停滞期に入ります。その間、RIはロータリーの多様性と柔軟性を基軸に様々なロータリーの本質部分の改革に着手します。ガバナー月信9月号と重複する部分がありますが、再度触れていきます。

① 例会の柔軟性

- ・1995年 メークアップ期間の延長→前後1週間から前後2週間に
- ・1998年 クラブ理事会承認のクラブ奉仕プロジェクトへの出席をメークアップと認める。

その後、これ以外にもメークアップの承認範囲が規定審議会ごとにどんどん拡大されます。

- ・2016年 クラブ例会頻度と出席に関する規定をクラブ細則で定めることができる。例会の回数を月2回以上に→クラブによっては毎週例会をしなくてもよい。

ロータリーが週1回の例会を基本原則に定めて以来、多くのロータリアンはそれをロータリーの根幹と位置づけ、ある意味、生活のリズムとして捉えて来ました。週1回、例会の名のもとに集まって食事をしながら、親睦を深め、卓話のもとに見識を広げる。これを当然のことと捉えて来ました。

しかしながら、規定審議会が多数決をもとに例会に対する柔軟性を推進するという事は、世界の趨勢が次第に例会を大きな核とするロータリーから、奉仕の実践を大きな核とする組織に移行しようとしていることを意味するとも言えます。

もともと財界人を中心として社会的地位の高い職業人を母体として始まった日本のロータリーは伝統的に例会への考え方が「人生の道場」と言われてきたように、ロータリーへの求心力を高める最大の要素でありました。



世界で最も形式を重視すると言われる日本の例会

RIにおける例会への考え方は、まさに「初めに例会ありき」という考え方ではなく、例会はロータリーにとって主要な活動ではあるが、あくまでもロータリー活動の一つとして、会員の状況に応じて柔軟に対応すべきだというものです。実際、2016年の規定審議会を受けて、当地区でも週1回という固定した考えでなく、クラブの実情のもとに対応するクラブも増えつつあります。

② 会員基盤の多様性

- ・2001年 同一職業分類の正会員については5名以内、会員数が51名以上のクラブではその10%までを認める。→一業種一会員制の実質的廃止
- ・2007年 会員資格の変更→財団学友、ボランティアリーダーの入会を認める。
- ・2013年 育児や配偶者の仕事の手伝いのため仕事を中断した人や同じ理由で仕事をすることがない人も正会員になることが可能
- ・2016年 会員身分の条件を簡素化し、善良で、高潔性、リーダーシップを持ち、良い評判を受け奉仕の意欲のある成人とする。また、ロータリーアクターとロータリー学友を正会員と認める。

これらの改革によって、少なくとも国際ロータリーの会員資格としては、職業人である必要がなくなりました。その流れに呼応する形で、「ロータリアンの職業宣言」が、2011年に「ロータリアンの行動規範」に改定されました。前者が「ロータリー倫

理訓」の現代版として、職業人としてのロータリアンのあり方を述べたのに対して、後者は職業人以外の会員を意識した文章となっています。

ロータリーにとって、会員基盤をどこまで多様化するのか、これが今後のロータリーの分水嶺と言えます。

RIの目指すのは、ある意味、ロータリーの開放にあります。本来、会員制の閉鎖的クラブであるロータリーの入会資格を緩和し、より多様な会員基盤を持つ多くの会員を有することによって、世界的奉仕団体の地位をより高める、RIはまさにその方向に向かっていけると言えます。反面、その方向性が会員にとっての組織への帰属意識を希薄化する懸念も指摘されます。平均会員数が40人に満たない個々のクラブにとって、RIは余りにも巨大になり過ぎたため、必ずしも同じベクトルに向かうとは言えないジレンマをクラブは抱えることになります。

③ クラブの多様性

- ・2005年 日本で財団学友によるRC誕生
- ・2010年 Eクラブを承認
- ・2013年 規定審議会が衛星クラブを正式に決議

会員基盤の多様性はさらにクラブの多様性にも及びます。とりわけEクラブの設立は、従来の例会スタイルとは一線を画したものであります。また、モーニングクラブのように食事を取らないクラブも増加してきました。いずれも時代に即した、入会をより促進するシステムであります。

④ 体制の強化

- ・2002年 地区リーダーシッププラン（DLP）が義務となる。
 - ・2004年 クラブリーダーシッププラン（CLP）の推奨クラブ細則発表
 - ・2007年 RI長期計画発表
 - ・2010年 RI新長期計画（戦略計画）発表「国際ロータリーのビジョン」「中核となる価値観」発表
- 中核となる価値観（Core Values）
—奉仕（Service）、親睦（Friendship）、

多様性（Diversity）、高潔性（Integrity）、リーダーシップ（Leadership）

- ・2011年 One Rotary構想推進
- ・2013年 ロータリー財団の新方針となる「未来の夢計画」が始まる。
- ・2014年 ロータリーの戦略計画の3つの優先項目—私たちは責任あるリーダーとして、世界の切実な課題を解決するために行動します。クラブのサポートと強化、人道的奉仕の重点化と増加、公共イメージと認知度の向上
- ・2016年 決議審議会を毎年オンラインで開催することを決定
- ・2017年 ロータリーの新ビジョン声明発表
「私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。」

これらに共通するのは、将来においてもロータリーが時代に沿った存在であり続けるための進化し続けるロータリーの構想です。一方、日本のクラブの多くは会員維持に汲々とする停滞の状態から抜け出せず、個々のロータリーとしての戦略的なビジョン作りが十分にできない中、明るい未来図が描けないままとなっています。活動そのものは以前よりも多岐にわたりながら、日本のロータリーにある閉塞感、それはどうすれば打破できるのか、次号で触れたいと思います。



日岡山公園：広大な敷地を持つ加古川市内最大級の花見の名所。約1500本の桜が華やかに咲き競う。夜になると約300本のぼんぼりが灯り、桜のトンネルを鮮やかに照らす。そして、桜が散った後は、加古川の市花であるつつじが咲き誇る初夏を迎える。

西播第1グループIM

2月16日(土)◆ホテル日航姫路

ガバナー補佐 **赤穂 哲**(姫路南)

矢野宗司ガバナーをお迎えして式典、講演、ジャズ演奏、懇親会と姫路南ロータリークラブの会員がホストを致しました。IMが終わって好評だったのは兵庫県立高砂高校ジャズバンド部による演奏でした。

さすがJapan Student Jazz Festival 5年連続グランプリを受賞した部員による演奏は見事でした。

また第2代よねやま親善大使の于咏さんの講演は「報恩・奉仕・繁栄」をテーマにIMテーマ(ロータリーの奉仕と親睦)に合った非常に良いお話でした。

西播第1グループのIMが無事終了した今、私は重責を果たしほっとしております。



西播第2グループIM

2月16日(土)◆赤穂ロイヤルホテル

ガバナー補佐 **前田 邦稔**(赤穂)

2月16日(土)赤穂ロイヤルホテルに於いて、矢野ガバナーはじめ御来賓の方々を含む総勢110名にご参加頂き西播第2グループインターシティミーティングを開催致しました。

第一部に続き第二部では、「地域創生と企業家の役割」をテーマに、神戸大学名誉教授の奥林康司氏による講演を頂き、今後西播磨地域創生に私たち企業家がどう関わっていけるのかを考察すべき有効なアイデア策等を拝聴致しました。

第三部では、「みんなで親睦、ロータリーを楽しもう」をテーマに、懇親を深めると共に「ベンチャーズサウンドの夕べ」と銘打ち、歓迎の意味で厚かましくも私自身出演のバンドの演奏をお聴き頂きました。

今回のIM全体を通して、西播第2グループの「より良き親睦・より良き研鑽」が図れたものと感じております。



東播第2グループIM

3月2日(土)◆加古川プラザホテル

ガバナー補佐 好崎 泰州(加古川平成)

当日は、矢野ガバナーを始め16名の御来賓の方々をお招きして東播第2グループのIMを開催いたしました。

加古川平成RCは、昨年度より県立農業高等学校に対して地区補助金事業を行い、その総決算といたしまして、今回のテーマの「地域の明日を担う県農生による発表会」を行いました。加古川北部地域で盛んな養鶏業では、採卵が終わった鶏の多くを廃棄処分に致しますが、この鶏を利用して何か新しい食材を見いだせないかと試行錯誤して、昨年度は「ひね鶏を利用したスモークチキン」などの試作を行い、今年度はそれを発展させ市販できるレベルまで完成し、販売を行った実績の発表会を行いました。

この発表に対して、矢野ガバナーを始め多くの参加者は、最近の高校生のプレゼンテーション能力の高さをおおいに評価され、IM式典後に行われました即売会では、このプロジェクトで生産されました「スモークチキン」「ソーセージ」「ジャーキー」や県農名物の乳酸菌飲料「カルピー」「花」などをたくさんの会員に買い求めていただき、用意した商品が完売いたしました。彼らにとってこの結果は、力強い励みになったと思います。

その後の懇親会は和気あいあいと進み、毎年「神戸まつり」に参加しております「コバ・ラテン・サンパチム」の登場を以て最高潮に盛り上がり、楽しいひと時が過ぎたと思います。



但馬グループIM

3月3日(日)◆香住区中央公民館文化ホール

ガバナー補佐 秋山 四郎(香住)

第一部 ロータリーの式典、第二部 眞鍋講師を迎えての講演、そして第三部は懇親会、と三部制で行われました。

第一部はガバナー矢野宗司様、総務幹事前川忠範様、各ガバナー補佐10名様、そして但馬グループの各クラブから97名様の参加を得て、盛大かつ厳かに行われました。

第二部は眞鍋政義様、元 全日本女子バレーボール代表監督をお迎えして、オリンピックで28年ぶりのメダルを獲得されるまでの表、裏の秘話を通して「逆転発想学、チームにスイッチを入れる」という題の講演が、ロータリーメンバーは元より但馬の学校(小・中・高)のバ

レーボール関係者(指導者・生徒)そして香美町民、合わせて600人を迎えて行われました。

実話である為、話を聞き涙ぐむ方も多数おられ、大好評の講演会となりました。

第三部は懇親会ですが、ロータリーの柱の一つである親睦が当グループの有名食材、松葉ガニを食しながら和やかな雰囲気が進み、最後にロータリーソング「手に手つないで」を参加者全員で唱和して但馬グループIMが閉幕となりました。



会員年齢の比較 ①30歳未満、②30~39、③40~49、④50~59、⑤60~69、⑥70歳以上 世界 ①2%、②9%、③21%、④29%、⑤24%、⑥15% 日本 ①0%、②2%、③17%、④36%、⑤28%、⑥17% 日本では30歳台が少なく50歳以上が80%を超えています。

2月23日(土)◆JEC日本研修センター神戸元町

米山記念奨学委員長 秦 紳一郎(洲本)

2020学年度米山記念奨学生応募に向けての学校説明会を開催いたしました。

この説明会は、奨学金応募対象の全ての学校の留学生担当者に対して案内をし、出席した学校には優秀な学生を推薦してもらうため、ロータリーと米山記念奨学事業に対して理解をしてもらうと共に、応募に向けての留意点などを説明するものです。

今回は、神戸大を始め17校の出席を得ました。ロータリーの歴史から、米山記念奨学金の特徴、

ロータリアンが寄付金に託する思い、国際理解と国際平和を目的とする人づくりが目的であることなどを説明しました。

その後、当地区の選考の特徴と流れを説明し、どういう学生を採用したいか、奨学生の義務、交流の大切さなどをお話いたしました。

最後に質問を受け付け、それにお答えして説明会を終了しました。

2018学年度米山記念奨学生修了式・歓送会

3月10日(日)◆第一楼

米山記念奨学委員長 秦 紳一郎(洲本)

2018学年度米山記念奨学生19名(継続奨学生を除く)の奨学期間終了日を迎えるに当たり、修了式と歓送会を奨学会及び地区関係者24名、カウンセラー21名、奨学生25名(継続奨学生を含む)、学校関係者11名と学友会河本会長が出席し、開催いたしました。

矢野ガバナーと滝澤奨学会常務理事のごあいさつ後、奨学生には終了書、カウンセラーには感謝状がそれぞれ授与されました。

歓送会は、1年間～3年間の奨学期間の思い出などに花が咲き、和気あいあいの雰囲気で行われました。途中からのスピーチの時間では、奨学生からは

カウンセラーや世話クラブ、ロータリーへの感謝の言葉が、涙と笑いと感動で語られました。カウンセラーからは奨学生との思い出と共に得られた貴重な経験が、また学校関係者からはロータリーと奨学事業へのお礼の言葉がそれぞれ述べられました。

修了する奨学生たちは、「進学、就職、帰国とそれぞれの道を歩みますが、ロータリーでの学びと絆を今後も忘れません」と語ってくれました。

米山記念奨学事業が学生たちをどれだけ支えることが出来ているかが、改めて心に響いた一日でした。



加古川中央ローターアクトクラブ認証状伝達式

2月18日(月)◆兵庫大学

クラブ青少年奉仕委員長 **田端 和彦**(加古川中央)

加古川中央ローターアクトクラブの発足にあたり、加古川中央RAC認証状が矢野ガバナーより寺西会長に手渡され、真新しいローターアクト旗の下、提唱クラブの加古川中央ロータークラブ松本会長が、バッジを胸に授けました。

当日は、浅木ガバナーエレクト、高瀬ガバナーノミニーなど多くの関係者が、盛大に国際ローター

第2680地区の新しいローターアクトクラブの出発を祝いました。

ロータリーの会員でもあったF. ルーズベルトの言葉、「若者のために未来を創ることはできないが、未来のために若者を創ることはできる」を心に、ローターファミリーの一員として共に活動を続けていきたいと思えます。



2019年地区チーム研修セミナー

2月17日(日)◆神戸ポートピアホテル

次年度 大会・研修会幹事 **寺本 督**(神戸)

三木RI理事、矢野ガバナーの挨拶、滝澤次期地区研修リーダーの講演のあと、浅木ガバナーエレクトよりSan Diego国際協議会・RIテーマの報告に続き「地区運営方針」について説明がありました。

①ガバナーの行動指針は「地域社会をつなぎ(Connect)多様性に富んだ会員組織へ変革する(Transform)」②地区運営方針並びに重点目標は「RIテーマおよびロータリーの目標達成を目指す」「女性会員、若い会員を増強し、多様な人びとをロータリーでつなぐ」「公共イメージと認知度の向上を図り、地域社会とロータリーをつなぐ」「ロー

タリーのプログラムを積極的に支援し、安心・安全をモットーに青少年と世界をつなぐ」「My ROTARYを通じてロータリー情報を取得発信し、ロータリーを世界とつなぐ」

続いて上谷次期財務委員長より地区予算案、村尾次期代表幹事よりチーム別会議での協議確認事項について各々説明があり、全体会議を終えました。

その後の各チーム別会議に於ける意見交換を通じ、次年度に向けて意義あるセミナーになったと信じております。



神戸東ロータリークラブ

車いすテニスを通じた 障害者と健常者の交流支援

2月19日火曜日の午前8時30分から12時までの間、ワールド記念ホールのアリーナを貸し切り、神戸市立友生支援学校から招待した約30名の生徒さんが車いすテニスの試合を間近で観戦し、上地結衣プロや車いすテニス協会の選手たちの指導のもと、車いすテニスを体験しました。

上地結衣プロと右近憲三プロ、松蔭女子大学テニス部の学生さん達とで、エキシビジョンマッチを披露していただきましたが、自在に車いすをあやつり、左手で握ったラケットで上地プロが放つボールの鋭い弾道には、集まった100人超の観衆から歓声がわきあがっていました。

車いすテニス体験の時間には、友生支援学校の生徒さん達がみなとても良い表情でテニスを楽しんでおられ、大変盛況のうちに閉会となりました。

(文責：社会奉仕委員長 石原 守)

▶2月19日(火)

▶ワールド記念ホール

プロジェクト予算総額：1,154,330円 地区補助金額：500,000円



加古川平成ロータリークラブ

県立農業高等学校による 地域特産品開発の支援

加古川平成ロータリークラブでは昨年度、県立農業高等学校と「廃鶏を利用した商品開発」のプロジェクトを行い、商品の開発に成功しました。

今年度は、その開発した商品をさらに改善し、販売できる商品を目指してプロジェクトを実施し、商品化することが出来ました。出来上がった商品は、今回東播第2グループのインターシティ・ミーティングにおいて「地域の明日を担う県立農業高等学校による地域特産品の開発への支援」と題して、発表会を行いました。

発表会では、パワーポイントによる生徒たちの発表を聞きながら、完成した商品を試食して頂きました。

最後に、質疑・応答でこれまでの苦労や今後の課題などを聞くことができました。また、発表会終了後には、県立農業高等学校生による即売会も行われ、今回の商品の販売もあわせて実施し、売れ行きも好調で見事に完売し、大盛況で終わることが出来ました。

(文責：幹事 榎 誠)

▶3月2日(土)

▶加古川プラザホテル2F

プロジェクト予算総額：877,365円 地区補助金額：438,682円



- ◎ 「The meaning of the motto」 Arthur Frederick Sheldon シェルドン出版社 1920 8p ※
(The Business Philosopher 1920年12月号)
- ◎ 「モットー『He profits most who Serves best』の真意」
アーサー F. シェルドン／著 田中 毅／訳 2019 6p ※
- ◎ 「The Gate」 Arthur Frederick Sheldon シェルドン出版社 1922 2p ※
(The Business Philosopher 1922年11月号)
- ◎ 「The Gate 入口」 アーサー F. シェルドン／著 田中 毅／訳 2019 3p ※
- ◎ 「シェルドンの森を巡る旅 経営学に基づく奉仕理念」
田中 毅 源流の会 2017 136p ※
- ◎ 「シェルドンのすべて」 田中 毅 2019 12p ※

上記※印はデジタル化されている資料です。

資料の検索は文庫ホームページから <http://www.rotary-bunko.gr.jp/>

4 月 ・ 5 月 の 地 区 活 動 予 定

日 時	行 事 名	場 所
4月 2(火) 16:30~17:30	次年度ロータリー財団関係委員長会議	神戸三宮東急REIホテル3F オリーブ
	第5回補助金小委員会	神戸三宮東急REIホテル3F ローズ
7(日) 10:30~12:00	第7回米山記念奨学委員会	神戸三宮東急REIホテル3F ローズ
	2019学年度 米山記念奨学生・ カウンセラーオリエンテーション	神戸三宮東急REIホテル3F ボールルーム
14(日) 10:00~12:00	2018-19年度 ローターアクト指導者養成セミナー	豊岡市民会館
	第8回青少年交換小委員会	JEC日本研修センター
16(火) 16:00~	2018-19年度青少年交換長期来日生第7回・ 2019-20年度派遣候補生第6回オリエンテーション	JEC日本研修センター
	第9回地区運営会議	ホテルオークラ神戸3F 梅
19(金) 19:00~	5学友総会打ち合わせ	JEC日本研修センター
20(土)	第41回RYLAカウンセラーミーティング (~21日)	神戸YMCA余島野外活動センター
23(火) 17:30~	第9回規定審議委員会	神戸三宮東急REIホテル3F メイプル
25(木) 17:30~20:00	第6回補助金小委員会	神戸三宮東急REIホテル3F ローズ
5月		
11(土) 10:30~16:30	2019年地区研修・協議会	神戸ポートピアホテル
12(日) 11:00~	IYFR神戸フリートJAPAN 春の懇親会	活魚料理「源平」
19(日) 午後	立法案検討会・2019年規定審議会報告会	三宮コンベンションセンター
	10:00~12:00	第9回青少年交換小委員会
22(水) 17:30~20:00	2018-19年度青少年交換長期来日生第8回・ 2019-20年度派遣候補生第7回オリエンテーション	JEC日本研修センター
	第7回補助金小委員会	神戸三宮東急REIホテル3F ローズ
23(木)	第41回RYLAセミナー (~26日)	神戸YMCA余島野外研修センター
	青少年交換長期来日生東京旅行 (~26日)	
28(火) 16:00~17:30	第10回地区運営会議	ガバナー事務所 724号会議室

新会員紹介・一緒にロータリーライフを楽しみましょう(敬称略・クラブ順)

尼 崎



井上 裕亘
生命保険
2/18入会



松本 久晃
ビルメンテナンス
2/25入会



太田 叶子
自動車整備
1/16入会



兼重 真咲
鉄道用具製造配布
1/23入会



浦山 暢之
電気器具製造・配布
12/4入会



竹間美喜夫
建設業(総合工事業)
1/11入会

柏 原



小阪 英樹
新聞発行
3/1入会

加古川中央



藤井 晃
保険代理業
3/7入会

高砂青松



阪本 徹也
生命保険
1/10入会

洲 本



船越 健司
司法書士
1/8入会

淡路三原



平川 直樹
ハウスクリーニング
2/7入会

ご寄付感謝・ありがとうございます(敬称略・クラブ順)

ベネファクター



藤井 恵一
(篠山)



玉垣 喜三
(尼崎)



村田 守
(尼崎北)



松岡 秀光
(尼崎東)



田中 正喜
(尼崎東)



名越 亮
(川西)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



今井 保晴
(篠山)



河合 岳雄
(篠山)



小林 常郎
(篠山)



小田垣博三
(篠山)



小嶋 一郎
(篠山)



吉田 正雄
(篠山)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



川本 慶子
(神戸東灘)



浅木 幸三
(神戸)



日笠 秀樹
(神戸)



鍛冶川清司
(神戸)



木下 学
(神戸)



中内 仁
(神戸)

ポール・ハリス・フェロー

ポール・ハリス・フェロー



西本 誠實
(神戸)



佐井 裕正
(神戸)



富永 彰良
(神戸)



奥田 祐司
(神戸中)

米山功労者メジャーダー(16回)

米山功労者メジャーダー(10回)

米山功労者(7回)

米山功労者(6回)

米山功労者(5回)

米山功労者(4回)



小南 稔彦
(篠山)



後藤 幹史
(篠山)



池永 明義
(伊丹有明)



苅田孝太郎
(尼崎北)



上林 勝
(龍野)



村田 守
(尼崎北)

米山功労者(4回)

米山功労者(3回)



堀口 純男
(篠山)



吉田 正雄
(篠山)



鍛冶川清司
(神戸)



岩崎 重暁
(神戸中)



西 啓次郎
(津名)



崎野 圭子
(龍野)

米山功労者(2回)



森村 安史
(西宮)



角南 忠昭
(神戸)



椿原 成治
(神戸)



宮本鹿司夫
(加古川中央)



伊藤 充弘
(龍野)



木津 真人
(龍野)

米山功労者(1回)



西 省造
(三田)



河野 忠友
(神戸)



尾山 基
(神戸)



奥田 祐司
(神戸中)



高井 敏郎
(神戸中)



羽原 正善
(加古川中央)

米山功労者(1回)



松本 浩一
(加古川中央)



岡田 英明
(淡路三原)

ロータリー財団恒久基金への大口寄付



大室 僑会員(宝塚武庫川)が
恒久基金「ロータリー平和センター修了証取得プログラム」に
大口寄付をされました。

ガバナー事務所からのお知らせ

◆メールアドレスの変更

高砂ロータリークラブと高砂青松ロータリークラブのメールアドレスが下記の通り変更となりました。

高 砂ロータリークラブ：takasago_rc@takasago-cci.or.jp

高砂青松ロータリークラブ：seisho_rc@takasago-cci.or.jp

◆クラブ事務所移転

洲本ロータリークラブの事務所が下記の通り移転となりました。

電話・FAX番号・メールアドレスに変更ありません。

【旧住所】洲本市本町5-4-25 第二大富ビル203号

【新住所】〒656-0025 洲本市本町4丁目5番3号

洲本商工会議所会館 4階403号室

ご冥福をお祈り申し上げます



故 上田 護國 氏(龍野)
1月25日 享年75歳



故 山崎 貞雄 氏(神戸須磨)
2月28日 享年64歳

国際ロータリー第2680地区 2019年2月出席報告

	クラブ名	例会数	平均出席率 %	会員数						増	減		クラブ名	例会数	平均出席率 %	会員数						増	減	
				7/1の会員数		当月末会員数		増減								7/1の会員数		当月末会員数		増減				
				総数	うち女性	総数	うち女性	総数	うち女性							総数	うち女性	総数	うち女性	総数	うち女性			
尼崎6	尼崎	3	79.84	31	1	34	1	3	0	東播第14	明石	4	87.22	46	0	47	0	1	0					
	尼崎北	4	93.42	39	0	38	0	-1	0		明石西	4	98.34	35	2	34	2	-1	0					
	尼崎東	4	93.93	44	0	48	2	4	2		明石北	4	92.04	42	0	42	0	0	0					
	尼崎西	4	84.28	35	2	37	2	2	0		明石南	3	96.49	21	0	20	0	-1	0					
	尼崎南	4	83.66	33	4	36	4	3	0		小計		93.52	144	2	143	2	-1	0					
	尼崎中	4	82.10	23	1	24	3	1	2		高砂	4	99.40	41	3	42	3	1	0					
	小計		86.21	205	8	217	12	12	4		加古川	4	84.43	78	0	74	0	-4	0					
阪神第16	伊丹	4	96.25	42	0	40	0	-2	0	東播第25	加古川中央	3	86.07	59	0	57	0	-2	0					
	川西	4	97.35	31	6	31	6	0	0		高砂青松	4	83.05	43	2	43	2	0	0					
	伊丹有明	4	100.00	19	0	18	0	-1	0		加古川平成	3	90.48	16	1	16	1	0	0					
	川西猪名川	3	88.43	21	3	19	3	-2	0		小計		88.69	237	6	232	6	-5	0					
	伊丹昆陽池	3	95.23	8	0	7	0	-1	0		東播第35	三木	4	98.08	51	0	52	0	1	0				
	西宮イブニング	3	79.31	20	8	20	8	0	0			小野加東	3	97.90	45	1	48	1	3	0				
小計		92.76	141	17	135	17	-6	0	北条	4		100.00	37	2	38	2	1	0						
阪神第26	西宮	4	100.00	54	0	56	0	2	0	淡路5		西脇	3	96.41	46	0	47	1	1	1				
	芦屋	4	83.92	41	0	42	0	1	0			三木みどり	3	97.85	32	1	31	1	-1	0				
	甲子園	4	86.80	38	2	40	2	2	0		小計		98.05	211	4	216	5	5	1					
	西宮夙川	3	95.55	34	3	34	3	0	0		西播第16	洲本	4	86.47	33	1	34	1	1	0				
	芦屋川	3	84.46	29	4	29	4	0	0			南淡路	4	88.27	29	3	32	4	3	1				
西宮恵美寿	4	90.63	24	5	25	4	1	-1	淡路三原	4		93.42	18	1	20	1	2	0						
小計		90.23	220	14	226	13	6	-1	津名	4		88.93	31	1	32	1	1	0						
阪神第38	宝塚	2	92.11	21	2	19	1	-2	-1	西播第24		あわじ中央	4	80.43	24	0	23	0	-1	0				
	三田	3	85.83	20	0	20	0	0	0		小計		87.50	135	6	141	7	6	1					
	篠山	4	100.00	45	0	45	0	0	0		姫路	4	95.68	82	0	84	0	2	0					
	柏原	4	96.74	49	0	46	0	-3	0		姫路南	3	100.00	75	0	74	0	-1	0					
	宝塚武庫川	4	86.92	37	1	37	1	0	0		姫路西	4	85.40	71	2	69	2	-2	0					
	三田南	4	100.00	8	0	8	0	0	0		姫路东	4	100.00	67	2	69	2	2	0					
	宝塚中	4	93.10	31	8	31	8	0	0		神崎	4	83.93	26	0	28	0	2	0					
	HYOGO REC	3	65.70	24	5	24	6	0	1		姫路中央	4	100.00	4	0	4	0	0	0					
小計		90.05	235	16	230	16	-5	0	小計		94.17	325	4	328	4	3	0							
神戸第16	神戸	4	85.49	161	2	161	3	0	1	西播第24	赤穂	4	90.98	34	0	33	0	-1	0					
	神戸東	3	86.48	113	0	114	0	1	0		相生	4	100.00	34	2	35	2	1	0					
	神戸東灘	3	79.76	27	4	28	3	1	-1		龍野	4	95.37	49	5	44	5	-5	0					
	神戸南	3	70.81	82	0	84	0	2	0		上郡佐用	3	98.55	24	8	23	8	-1	0					
	神戸六甲	4	76.56	15	0	16	0	1	0		小計		96.23	141	15	135	15	-6	0					
	神戸ベイ	4	81.20	19	2	20	2	1	0		但馬5	豊岡	4	96.68	38	0	38	0	0	0				
小計		80.05	417	8	423	8	6	0	生野	4		83.49	22	0	22	0	0	0						
神戸第27	神戸西	3	81.32	50	5	49	5	-1	0	香住		4	91.83	12	0	13	0	1	0					
	神戸須磨	4	93.55	31	0	31	0	0	0	豊岡円山川		4	90.39	27	0	27	0	0	0					
	神戸北	3	90.47	18	1	14	1	-4	0	和田山		4	93.00	24	2	25	2	1	0					
	神戸垂水	4	92.99	25	4	26	6	1	2	小計		91.08	123	2	125	2	2	0						
	神戸西神	4	92.80	39	1	38	1	-1	0	合計	73RC		90.65	2,763	118	2,780	127	17	9					
	神戸中	4	88.24	38	3	38	4	0	1															
神戸モーニング	4	89.66	28	2	33	3	5	1																
小計		89.86	229	16	229	20	0	4																

◆クラブ数…………… 73RC
 ◆2018年7月1日 クラブ会員数……………2,763人
 ◆2019年2月末 クラブ会員数……………2,780人

◆2019年2月末女性会員数…………… 127人
 ◆2019年2月平均出席率……………90.65%
 ◆増減…………… 17人増

伝統とモダンの調和



味季料理りんどうは、加古川に根差して40年以上の老舗日本料理店です。
現在は孫の代になり、兄弟二人が伝統を受け継ぎながら、地元の方々に更なる楽しい“美味の時間”をお届けしたいと日々努力を重ねております。
地産地消にこだわった食材、国際ソムリエ（日本人で初めてゴールド認定を取得）が厳選する日本酒にワイン。そして、さまざまなシーンにご利用頂ける多彩なお席。
この加古川の地で大満足いただける“ほんまもんの料理店”であり続けられるよう、頑張ってお参ります。ぜひ一度足をお運びください。



料理長&国際ソムリエ
宮本 隆太

しゅん 味季料理りんどう

〒675-0038

兵庫県加古川市加古川町木村474-2

TEL 079-424-8100

HP <http://rindow.co.jp>



国際ロータリー第2680地区

ガバナー 矢野 宗司

事務所

〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-10-1 神戸ポートピアホテル本館7階722号室
TEL : 078-304-2680 FAX : 078-304-2681
E-mail yano2680@arrow.ocn.ne.jp